

## 6 小学校高学年用「帰り道で」 指導例

本資料では、いわゆる「いじめ」やそれにつながるものとして、身近な友達との関係の中で起きる相手の気持ちを考えない言動がエスカレートしていく過程を取り上げている。ヤスオに対する周囲の言動の不合理性に気付いたケンイチが、それを正したために今度は自分が排除されるようになってしまう。ケンイチが、悩みながらも、不正を許さず正義を大切に自分自身へ誇りや、そんな生き方をしていくことの喜びを感じる姿が描かれている。

展開では、ケンイチの思いを軸に、それぞれの登場人物の言動を押さえながら、何がおかしいのか、偏見や不合理がどこにあるのかを考えさせ、それがいじめや差別、またそれらにつながるものであることにも気付くことができるようにしたい。そして、「空の上から見ている誰か」とは何を象徴しているのかについて話し合わせることで、不正を憎み正しいことを貫こうとする勇気やそうした生き方へのあこがれを育みたい。

- ◆ **主題名** 正しいこと      指導内容 高4ー(2)
- 資料名** 帰り道で      (奈良県教育委員会)

### ◆ ねらい

ヤスオに対する周囲の言動の不合理性に気づき、正したために今度は自分が排除されるようになったときや、正しいことを貫いた自分自身に自信がもてるようになったときのケンイチの思いについて話し合うことを通して、誰に対しても公正、公平にし、正義を大切にしようとする態度を育てる。

### ◆ 展開

	学 習 活 動	主な発問と予想される児童の意識	指導上の留意点	備考
導 入	1、「正義」について話し合う。	○ 「正義」とはどんなことだと考えますか。 ・悪いことをしないこと。 ・法律に反しないこと。	・自由に意見を出し合わせ、本時の主題につなげるようにする。	
展 開	2、資料「帰り道で」を読んで話し合う。	○ ケンイチが、ヤスオのことが気になりながらも黙っていたのは、どんな気持ちからでしょうか。 ・こんなことはおかしいけど、自分が言って気まずい雰囲気にしたくない。 ・シンゴの機嫌を損ねると困る。 ・今の関係を壊したくない。  ○ シンゴの言葉を聞いて、ケンイチがほっとしたのはどうしてでしょう。 ・ヤスオを仲間はずれにしなくてすんだから。 ・シンゴを怒らせずにすんだから。	・ヤスオがからかいの対象になっていることの不合理性とともに、シンゴを頂点とした友達関係の中で起こっていることを押さえ、身近な友達関係を見直すきっかけともできるようにする。  ・ほっとしたのはなぜか、ヤスオのためか、自分のためか、どちらがより強いかを問い返すなど、主人公の思いを掘り下げて考えられるようにする。	

展 開		<p>○ たまらなくなつて母に話をしたケンイチは、どんな思いでいたでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今度はぼくが仲間はずれにされるなんて。どうしたらいいのだろう。</li> <li>・何も悪いことはしていないのに。</li> <li>・ヤスオの気持ちも分かるのでつらい。</li> </ul> <p>◎ ケンイチが、重たかった心が軽くなっていくような気がしたのはどうしてでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・正しいことをしている自分を母に認めてもらえたから。</li> <li>・黙っている自分より、言えた自分の方がずっといいと思えたから。</li> <li>・分かってくれる人や見ていてくれる人がいると思えたから。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・心ならずも主人公を排除する側になったヤスオの思いについても触れ、主人公の怒りや、やるせない思いにせまることができるようにする。</li> <li>・ワークシートに記入させ、友達と意見交換することで考えを深められるようにする。</li> <li>・母の笑顔は何に対するものか、「空の上から見ている誰か」とは何を象徴しているのかなどについて話し合い、主人公の不正を許さず正義を大切にした自分自身へ誇りや、そんな生き方をしていくことの喜びを感じる姿に共感できるようにし、不正を憎み正しいことを貫こうとする勇気やそうした生き方へあこがれを育むようにする。</li> </ul>	ワークシート
	3、「心のノート 小学校5・6年」86、87ページを見て、自分を振り返る。	<p>○ 「心の窓をくもらせない」ために、自分にできることはどんなことでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・誰に対しても、正しいと思うことは曲げずに言う。</li> <li>・友達を傷付けるようなことは絶対しない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「心のノート」を活用して自分たちの身近な生活や友達関係などを振り返り、今後、それらと自分自身の関わり方について考えられるようにする。</li> </ul>	「心のノート」
終 末	4、指導者の話を聞く。		<ul style="list-style-type: none"> <li>・迷いながらも正しいことを貫いた気持ちよさ、そんな自分への肯定感や誇りなどについて指導者の経験等を話し、公正さや正義を大切にしようとする思いを温めるようにする。</li> </ul>	

※「心のノート」は、次のURLよりダウンロードできます。

[http://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/doutoku/detail/1302317.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/doutoku/detail/1302317.htm)